

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略
にかかると事業評価報告書
(平成27年度事業)

平成28年10月
宇治市

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1. 基本的な考え方

(1) 総合戦略の目的

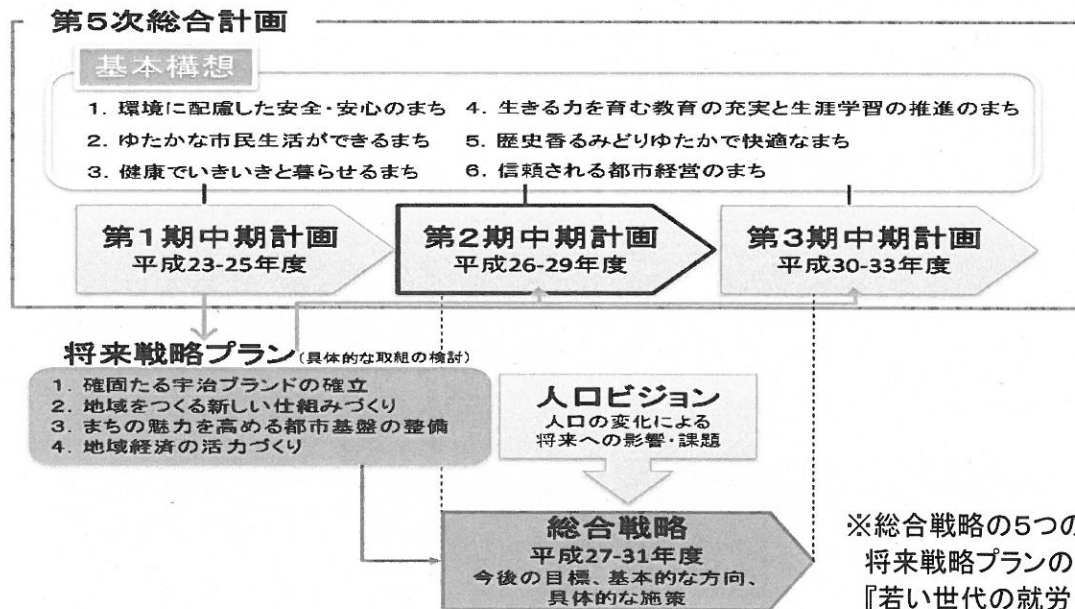
人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指すことを目的とする。

(2) 総合戦略の位置付け

本市では、宇治市第5次総合計画（計画期間平成23～33年度）において「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を目指す都市像とし、お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治をまちづくりの目標とする。この基本的な考え方は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的考え方等と合致している。

また、平成25年度に策定した宇治市将来戦略プランでは、宇治市第5次総合計画第1期中期計画を受けて、宇治を持続的に発展する都市とするため、産業や観光などの幅広い分野において時代の変化に対応し、『宇治』の魅力を向上させるための具体的な取組を検討した。

本総合戦略では、既に示されている宇治市第5次総合計画・宇治市将来戦略プランを踏まえたうえで、人口ビジョンにおいて示した人口の変化による将来への影響、課題を勘案しつつ、人口減少に歯止めをかけ、持続的に発展するまちを目指した今後の目標、基本的な方向、具体的な施策を示すものである。



※総合戦略の5つの基本目標
将来戦略プランの4つの方針に
『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』を追加

2. 事業評価

各基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)の達成度により、取組の効果を毎年検証し、国の動向や社会経済情勢の変化などに対応した施策の見直しを図るなど、PDCAサイクルにより、総合戦略の実現性を高める。

また、効果検証に際しては、庁内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、市民及び産学官金労言等の有識者で構成される「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で検証を行う。

※PDCAサイクル: Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り組み、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

3. 評価の対象事業

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の5つの基本目標に掲げる事業のうち、平成27年度に実施した事業(地方創生先行型交付金対象事業を含む)について評価を行った。

なお、同交付金は、国において事業効果を高めるため、外部有識者による効果検証を求められている。

4. 総合戦略の見直し

本市では、人口減少に歯止めをかけるため、平成27年度において総合戦略に掲げる基本目標に基づき、観光施策や子育て支援施策をはじめとした各種事業を実施した。その結果、交流人口(観光入込客数)は前年より増加しており、本市の魅力を感じ訪れる観光客は増加しているが、人口は依然として減少している。人口減少への歯止めに向けて、これまで積極的に実施している子育て支援施策などの効果が表れるには一定の時間を要するが、今後も、人口減少要因等の分析やアンケート等による市民ニーズの把握を行い、人口増加につながる事業について検討を進めるとともに、引き続き5つの基本目標に基づき、積極的な事業展開を図る。

なお、総合戦略の見直しについては、平成27年度が計画期間の初年度であるとともに、各事業の実施により平成31年度に向けた数値目標等の達成に一定の効果があったため、施策毎の見直しは実施せず、目標を達成したKPIについては目標値の修正を行ったうえで効果検証をしながら、今後、必要に応じ見直しを行うものとする。

目次


基本目標	具体的施策	頁
(1)『確固たる宇治ブランドの確立』	①魅力発信プラットフォーム運営等事業	2
	②観光振興事業	4
	③観光インバウンド推進事業	6
	④宇治茶活用事業	8
	⑤宇治茶ブランド化事業	10
	⑥源氏物語のまちづくり等事業	12
	⑦宇治の魅力の深化事業	14
(2)『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』	①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業	18
	②宇治への愛着醸成事業	20
	③誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業	22
	④多世代交流促進事業	24
(3)『まちの魅力を高める都市基盤の整備』	①まち巡りを仕掛ける基盤づくり	26
	②交通環境等充実事業	28
	③公共施設アセットマネジメントの導入	30
	④地域コミュニティの活性化	31
(4)『地域経済の活力づくり』	①産業活性化事業	34
	②雇用促進事業	36
(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』	①若い世代の就労支援事業	40
	②結婚・出産支援事業	42
	③子育て支援環境充実事業	44
	④学習環境等充実事業	48
	⑤保幼小中の連携教育推進事業	51
	⑥地域等協働子育て環境充実事業	52

(1) 『確固たる宇治ブランドの確立』～宇治市に新しい人の流れをつくる～

<p>目標</p>	<p>人口減少に歯止めをかけるため、本市の魅力を発掘・創造・発信し、観光客をはじめとした交流人口の増加を図り、魅力の実感を通じて、宇治に住みたい思いの醸成から、転入者を増やすことで社会増を達成する。</p>																																															
<p>数値目標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ブランド調査 魅力度全国ランキング</td> <td>38位 (H26年)</td> <td>54位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>29位 (H31年)</td> </tr> <tr> <td>観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)</td> <td>69～95% (H23年度)</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>全て85%以上 (H34年度)</td> </tr> <tr> <td>観光客のリピーター割合</td> <td>58% (H23年度)</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>70% (H34年度)</td> </tr> <tr> <td>交流人口(観光入込客数)</td> <td>5,201,764人 (H26年)</td> <td>5,598,011人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7,500,000人 (H31年)</td> </tr> </tbody> </table>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位 (H26年)	54位					29位 (H31年)	観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—					全て85%以上 (H34年度)	観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—					70% (H34年度)	交流人口(観光入込客数)	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人					7,500,000人 (H31年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																																									
地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位 (H26年)	54位					29位 (H31年)																																									
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—					全て85%以上 (H34年度)																																									
観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—					70% (H34年度)																																									
交流人口(観光入込客数)	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人					7,500,000人 (H31年)																																									
<p>評価・課題</p>	<p>交流人口(観光入込客数)は前年に比べ約40万人増となっているが、地域ブランド調査による魅力度全国ランキングは54位と前年に比べ下がっている。 今後、様々な情報発信の手法により、国内外に向けた本市の更なるブランド化を推進する必要がある。</p>																																															
<p>平成28年度 新規・拡充 事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ちはや姫広報活動費</td> <td>新規</td> <td>宇治市宣伝大使ちはや姫のノベルティ制作など</td> </tr> <tr> <td>魅力発信プロモーションビデオ制作費</td> <td>新規</td> <td>市の魅力をわかりやすく発信するため、プロモーションビデオを制作</td> </tr> <tr> <td>観光情報発信事業費</td> <td>拡充</td> <td>京都市等と連携し、本市観光資源の情報を発信</td> </tr> <tr> <td>観光関連施設整備費</td> <td>拡充</td> <td>観光トイレの改修設計</td> </tr> <tr> <td>グラウンド・ゴルフ場整備事業費</td> <td>拡充</td> <td>グラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備</td> </tr> <tr> <td>観光インバウンド推進事業費</td> <td>拡充</td> <td>外国人観光客のさらなる誘客のため、香港トップセールス等を実施</td> </tr> <tr> <td>お茶の京都DMO協議会負担金</td> <td>新規</td> <td>お茶の京都づくりを推進するためのDMOの設立に向けた負担金</td> </tr> <tr> <td>市内産宇治茶ブランド化推進事業費</td> <td>拡充</td> <td>碾玉のプロモーションや、市内産宇治茶の認証制度の検討を実施</td> </tr> <tr> <td>源氏物語ミュージアム管理運営費</td> <td>拡充</td> <td>来場200万人記念式典等の開催</td> </tr> <tr> <td>源氏物語ミュージアムリニューアル事業費</td> <td>新規</td> <td>平成30年度の開館20周年に向けたリニューアルの基本構想等を策定</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施</p>								事業名	新規・拡充	事業概要	ちはや姫広報活動費	新規	宇治市宣伝大使ちはや姫のノベルティ制作など	魅力発信プロモーションビデオ制作費	新規	市の魅力をわかりやすく発信するため、プロモーションビデオを制作	観光情報発信事業費	拡充	京都市等と連携し、本市観光資源の情報を発信	観光関連施設整備費	拡充	観光トイレの改修設計	グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充	グラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備	観光インバウンド推進事業費	拡充	外国人観光客のさらなる誘客のため、香港トップセールス等を実施	お茶の京都DMO協議会負担金	新規	お茶の京都づくりを推進するためのDMOの設立に向けた負担金	市内産宇治茶ブランド化推進事業費	拡充	碾玉のプロモーションや、市内産宇治茶の認証制度の検討を実施	源氏物語ミュージアム管理運営費	拡充	来場200万人記念式典等の開催	源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	新規	平成30年度の開館20周年に向けたリニューアルの基本構想等を策定							
事業名	新規・拡充	事業概要																																														
ちはや姫広報活動費	新規	宇治市宣伝大使ちはや姫のノベルティ制作など																																														
魅力発信プロモーションビデオ制作費	新規	市の魅力をわかりやすく発信するため、プロモーションビデオを制作																																														
観光情報発信事業費	拡充	京都市等と連携し、本市観光資源の情報を発信																																														
観光関連施設整備費	拡充	観光トイレの改修設計																																														
グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充	グラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備																																														
観光インバウンド推進事業費	拡充	外国人観光客のさらなる誘客のため、香港トップセールス等を実施																																														
お茶の京都DMO協議会負担金	新規	お茶の京都づくりを推進するためのDMOの設立に向けた負担金																																														
市内産宇治茶ブランド化推進事業費	拡充	碾玉のプロモーションや、市内産宇治茶の認証制度の検討を実施																																														
源氏物語ミュージアム管理運営費	拡充	来場200万人記念式典等の開催																																														
源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	新規	平成30年度の開館20周年に向けたリニューアルの基本構想等を策定																																														

<具体的施策>

①魅力発信プラットフォーム運営等事業								
目標	国内だけでなく、世界のたくさんの人々に宇治の魅力を発信するため、市民、事業者、各種団体、学校、市の協働で、魅力の発掘・創造・発信する仕組みを構築する。また、動画やゆるキャラなどを活用し、魅力発信の充実を図る。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	18団体					20団体 (H31年度)
	ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	1,403件					目標達成 1,000件 ↓ 2,000件 (H31年度)
平成27年度 主な事業	事業名	事業結果						
	魅力発信プラットフォーム運営等事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	<p>「宇治市魅力発信行動指針」に基づき、宇治の魅力を発信する方策の一つである「宇治の魅力を支える仕組みづくり」を行うため、まちの魅力を支える人及び団体の協働する場として「宇治魅力発信プラットフォーム会議」を開催。あわせて、魅力発信手法の一つとして、高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテストを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治魅力発信プラットフォーム会議 開催数 4回 <p>宇治の魅力づくり、魅力発信に携わる市民の方、NPO団体、その他関係機関が主体となり、参加者の方々が相互に連携することで、持続的な宇治のにぎわいの構築を目的とするプラットフォームを立ち上げ意見交換を行った。</p> <p>プラットフォーム会議を踏まえ、特に高校生のエネルギーをまちづくりに活かすことを目的に、市内高等学校の生徒が集う高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」が協働事業として立ち上がり市長との意見交換等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 14作品 最優秀賞 1作品 ともいき審査員賞 1作品 優秀賞 2作品 						

<p>ふるさと応援施策推進事業</p>	<p>平成27年7月から宇治茶をはじめとしたお礼の特典を拡充し、12月からはふるさとチョイスと連携したクレジットでの支払いも可能とした。</p> <table border="1" data-bbox="996 279 1556 510"> <tr> <td>年度</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>1,403</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>925</td> <td>1,648</td> <td>1,397</td> <td>37,842</td> </tr> </table> 	年度	24	25	26	27	件数	18	24	26	1,403	金額(千円)	925	1,648	1,397	37,842
年度	24	25	26	27												
件数	18	24	26	1,403												
金額(千円)	925	1,648	1,397	37,842												
<p>ゆるキャラを活用した魅力発信事業</p>	<p>「宇治市宣伝大使ちはや姫」の着ぐるみを新たに製作し、各種イベントへ参加するなど、積極的な活動に取り組んだ。</p>															

評価・課題

宇治魅力発信プラットフォームを設置したことにより、宇治の魅力を支える市民・団体が集い意見交換を行うことができた。今後は協働プロジェクトの実施に向けた具体的な動き出しができるよう進捗管理に努めるとともに、参加団体数の増加を図る。

また、ふるさと応援寄附では、前年度に比べて寄附件数・金額が大幅に増加しており、本市のPRに寄与することから、今後も制度のさらなる広報及び内容の充実を図りながら、寄附件数等の増加を図る。

さらに、魅力発信の充実を図るため、市政情報の発信及びシティプロモーションの展開などに向けた、より効果的な情報発信手法を検討する必要がある。

<p>平成28年度 新規・拡充 事業</p>	<p>事業名</p>	<p>新規・拡充</p>
	<p>ちはや姫広報活動費</p>	<p>新規</p>
	<p>魅力発信プロモーションビデオ制作費</p>	<p>新規</p>

<具体的施策>

②観光振興事業								
目標	本市には、世界遺産である宇治上神社や平等院をはじめ、全国に誇る高級茶の代名詞である宇治茶や源氏物語など、歴史や文化、自然といったたくさんの魅力があり、国内外から多くの観光客が訪れている。こうした資源を積極的に発信するとともに、放ち鶺鴒やスポーツなど新たな資源の創造と山間部にある炭山陶器の里やアクトパル宇治なども含めた市全体の魅力的な資源を活かして、さらなる観光誘客を図る。さらに、京都府や近隣市町と連携した取組を推進する。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—					全て85%以上 (H34年度)
	観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—					70% (H34年度)
	鶺鴒乗船人数	6,700人 (H25年度)	7,060人	<平成27年度 地方創生先行型交付金の効果検証>			8,000人	
平成27年度 主な事業	事業名	事業結果						
	放ち鶺鴒プロジェクト検討事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	人工孵化で繁殖した鶺鴒による放ち鶺鴒の実施に向けた取組について、(公社)宇治市観光協会に対し補助金助成を行った。 ・放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金 4,000千円						
	観光情報発信事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等広報印刷物の発行を行うとともに、市内Wi-Fi設置箇所拡充の促進、新たな観光資源としてアニメーションとの連携等を行った。 ・観光雑誌「ことりっぷ」でのブックインブック制作 発行部数：10万部(雑誌発行部数) ・パンフレット「京都・宇治」増刷 発行部数：9万部 ・英語版パンフレット「京都・宇治」発行部数：7万部 ・Wi-Fi設置箇所：40箇所(平成27年度末現在) ・宇治探訪マップ(アニメ「響け！ユーフォニアム」連携) 発行部数：5万部						

	<p>観光サイン等整備計画策定事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)</p>	<p>宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域及び黄檗エリアにおいて、宇治市内観光サインの現況について調査を行った上で、宇治市観光案内サイン等整備計画策定委員会を開催し、宇治市観光案内サイン整備ガイドラインを取りまとめた。</p>								
	<p>観光交通対策事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)</p>	<p>中宇治地区の道路の交通量及び交通状況を把握し、観光シーズンにおける渋滞対策等の検討のための基礎資料を得るため、中宇治地区観光シーズン交通量等調査を行った。また、観光シーズンにおける交通渋滞の緩和を図るため、各所に誘導看板を設置するとともに、臨時駐車場の開設及び案内誘導を行った。</p>								
<p>評価・課題</p>	<p>観光振興に係る事業への補助及び観光案内所の運営を通じ、観光宇治のイメージアップを図ることができ、鵜飼乗船人数の増加につながった。 また、アニメーションとの連携など宇治の観光情報発信への様々な取組を行うことにより、宇治の認知度及び宇治へ訪問意欲の向上に努めることができた。 今後は、観光サイン整備に向けた取組を実施しハード面での整備を図るとともに、引き続きスポーツなど新たな資源の創造と山間部にある炭山陶器の里やアクトパル宇治なども含めた市全体の魅力的な資源を活かして、更なる観光誘客を図る必要がある。</p>									
<p>平成28年度 新規・拡充 事業</p>	<table border="1" data-bbox="338 930 1133 1091"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光情報発信事業費</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td>観光関連施設整備費</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td>グラウンド・ゴルフ場整備事業費</td> <td>拡充</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施</p>		事業名	新規・拡充	観光情報発信事業費	拡充	観光関連施設整備費	拡充	グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充
事業名	新規・拡充									
観光情報発信事業費	拡充									
観光関連施設整備費	拡充									
グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充									

<具体的施策>

③観光インバウンド推進事業								
目標	東京オリンピック・パラリンピックを見据えつつ、外国人観光客のさらなる誘客を図るため、源氏物語ミュージアムをはじめ、宇治の魅力を世界に発信する。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	7,198人					目標達成 6,500人 ↓ 7,500人 (H31年度)
	源氏物語ミュージアムでの音声 ガイド貸出件数	4,021件 (H26年度)	3,671件					5,500件 (H31年度)
平成27年度 主な事業	事業名		事業結果					
	観光インバウンド推進事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)		<p>海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載するとともに、中国本土にて放映されるケーブルTV番組「関西印象」での放映及び中国動画サイトでの配信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港ウォーカー 発行部数：70,000部 ・ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行部数：100,000部 ・関西印象（中国全土で放映） 放送日：平成27年12月27日、平成28年1月2日、3日 動画再生：約27万アクセス（平成27年度末現在） 					
源氏物語ミュージアム広報活動事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)		<p>旅行情報誌等、計6誌に源氏物語ミュージアムの広告を掲載した。広告には観覧料の割引等を付け、来館者増加に向けて、積極的に周知・PRを行った。新たに、東京メトロガイドに挿入される「京あれこれ」に広告を掲載し、関東方面からの誘客を図った。</p>						

<p>評価・課題</p>	<p>海外に向けた宇治の情報発信を行うことにより、海外からの観光誘客を図ることができ、市営茶室対鳳庵外国人観光客数の増加につながった。 引き続き、様々なメディアを利用した情報発信に努めるとともに、源氏物語ミュージアムにおいても外国人観光客に向けた広報を強化し、国内外の観光客の誘致を図り、入館者の確保に努める必要がある。また、外国人観光客のさらなる誘客のために、受け入れ環境の整備や海外向けセールスを拡充する必要がある。</p>				
<p>平成28年度 新規・拡充 事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="338 432 954 472">事業名</th> <th data-bbox="954 432 1137 472">新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="338 472 954 512">観光インバウンド推進事業費</td> <td data-bbox="954 472 1137 512">拡充</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	新規・拡充	観光インバウンド推進事業費	拡充
事業名	新規・拡充				
観光インバウンド推進事業費	拡充				

<具体的施策>

④宇治茶活用事業								
目標	観光客をはじめ、来訪者等を「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、市民・茶業者とともに宇治茶でおもてなしするほか、宇治茶を巡るツアーの実施など、宇治茶を活用した事業により、宇治茶のブランド力の向上とさらなる観光誘客を図る。また、日本遺産に認定された「日本茶800年の歴史散歩」を活かしながら、京都府や近隣市町と連携し、より効果的な取組を推進する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	宇治茶を目的に宇治へ来る割合	15% (H23年度)	—					30% (H34年度)
	宇治茶巡りガイドツアー参加者数	0人 (H26年度)	1,036人					目標達成 1,000人 ↓ 1,200人 (H31年度)
平成27年度 主な事業	事業名	事業結果						
	宇治茶おもてなし推進事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	<p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年7月 京都縦貫自動車道全線開通記念プレオープンイベント 9月 国民参加の森林づくりシンポジウム 平成28年2月 京あるきin東京2016～恋する京都ウィークス～ 3月 渋谷ヒカリエプロモーション（鎧塚俊彦シェフ×宇治茶伝道師 小山茂樹氏対談トークショー） 日本旅行大宮支店前プロモーション <p>宇治市役所1階市民交流ロビー給茶機を7月から約1カ月間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。</p> <p>市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。</p> <p>市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（全5回実施）</p>						

	<p>市営茶室茶道体験事業</p>	<p>宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、平成27年度の入席者数は21,632人であった。</p>				
	<p>宇治茶巡りガイドツアー事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)</p>	<p>宇治茶をテーマに茶園・茶問屋街・茶工場等を巡る無料ガイドツアーを実施した。ツアー参加者は1,036人であった。</p>				
	<p>宇治茶まつり事業への支援</p>	<p>茶祖ならびに茶業先覚者を祀り茶業の発展を祈願するとともに、宇治茶と観光宇治の宣伝を強力に推進するため、各種協賛事業に参加し、宇治茶祭奉賛会に対して補助金を交付した。</p>				
<p>評価・課題</p>	<p>「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施したことにより、宇治茶の伝統及び茶業の情報発信を図ることができ、宇治茶ガイドツアー参加者数の確保につなげることができた。 また、市営茶室「対鳳庵」では、宇治茶を提供することで宇治茶の普及及び観光の振興を図ることができた。 今後は、宇治茶ブランドの向上とさらなる観光誘客を図るため、事業効果を検証しながら、国内外に対して「対鳳庵」のPR強化をはじめ、引き続き宇治茶を活用した事業を実施していく必要がある。さらに、「お茶の京都」構想に関する取組を、京都府をはじめとした関係団体と連携を図りながら推進していく必要がある。</p>					
<p>平成28年度 新規・拡充 事業</p>	<table border="1" data-bbox="336 949 1131 1037"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都DMO協議会負担金</td> <td>新規</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施</p>		事業名	新規・拡充	お茶の京都DMO協議会負担金	新規
事業名	新規・拡充					
お茶の京都DMO協議会負担金	新規					

<具体的施策>

⑤宇治茶ブランド化事業								
目標	市内産宇治茶のブランド化を進め、確固たるものとするこで、宇治茶はもとより本市のブランド力の向上を図る。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	宇治茶を目的に宇治へ来る割合	15% (H23年度)	—					30% (H34年度)
	宇治茶新商品の開発数	0件	1件	＜平成27年度 地方創生先行型交付金の効果検証＞				1件
	農産物の直売所数	0件 (H25年度)	0件					1件以上 (H27年度)
平成27年度 主な事業	事業名		事業結果					
	市内産宇治茶ブランド化推進事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)		茶業に関する現状を把握するための各種調査を実施した。また、調査結果に基づき「市内産宇治茶」のブランディング戦略構築のための研究会を4回開催し、市内産宇治茶振興に向けた取組案及び「碾玉」の活用方法についての提言を受けた。					
	六次産業化推進事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)		産業連関表による1次産業の流通拡大に向けた分析のため、農業関連へのアンケート調査、聞き取り調査にてデータ収集を行った。					
	産業連関表策定事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)		産業連関表策定業務委託契約（平成27～28年度）を締結し、策定のための基礎データの収集と市内事業所へのアンケート調査を行った。					

<p>評価・課題</p>	<p>茶業に関する各種調査及びブランド化に向けた研究を実施したことにより、市内産宇治茶振興に向けた手法の方向性を定めることができた。また、宇治茶新商品の開発にもつながった。 今後は、平成28年度に策定する宇治市版産業連関表を活用するとともに、提言を踏まえた事業を実施し、宇治茶はもとより本市のブランド力の向上を図る必要がある。</p>				
<p>平成28年度 新規・拡充 事業</p>	<table border="1" data-bbox="338 408 1133 491"> <thead> <tr> <th data-bbox="338 408 949 448">事業名</th> <th data-bbox="949 408 1133 448">新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="338 448 949 491">市内産宇治茶ブランド化推進事業費</td> <td data-bbox="949 448 1133 491">拡充</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="338 531 965 568">※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施</p>	事業名	新規・拡充	市内産宇治茶ブランド化推進事業費	拡充
事業名	新規・拡充				
市内産宇治茶ブランド化推進事業費	拡充				

<具体的施策>

⑥源氏物語のまちづくり等事業								
目標	本市は源氏物語宇治十帖の舞台となったまちであり、これまでから源氏物語のまちづくりを進めている。引き続き、源氏物語ミュージアムを中心に、源氏物語に関わる他市と連携した取組など、源氏物語を活かしたまちづくりを進め、本市のブランド力の向上を図る。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	源氏物語ミュージアム来館者数	118,377人 (H26年度)	112,372人					160,000人 (H31年度)
平成27年度 主な事業	事業名	事業結果						
	源氏物語ミュージアム運営事業	<p>源氏物語を通して、古典の普及と観光の振興を図るため、企画展・講座の充実に取り組んだ。</p> <p>企画展では、他館と連携を図ったことや、毎回テーマを工夫し、関連事業を実施したことにより、誘客を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源氏物語の美術工芸 ・小林等の源氏絵 ・絵で見る平安時代—王朝びとのくらし— ・小倉百人一首殿堂「時雨殿」連携企画 紫式部と源氏物語 ・宇治市歴史資料館合同企画 「源氏」的なるものと宇治 都名所図会の世界 ・源氏物語 かさねの色目 —宇治十帖の世界— <p>講座については、当館学芸員による入門講座、平安時代の文学・歴史を専門とする研究者を講師に迎える連続講座、子どもたちが参加するかるた教室のほか、新たに参加・体験型教室を開催し、多様な角度から古典に関心をもつ機会を提供した。『謹訳源氏物語』の著者である林望氏を講師に招いた源氏物語セミナーは、新たな層の獲得につながった。</p>						
	宇治十帖スタンプラリー開催事業	<p>宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社及び平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日数5日(10月24日、25日、31日、11月1日、3日) ・踏破者数17,744人 						

	<p>紫式部文学賞及び紫式部市民文化賞事業</p>	<p>11月15日に贈呈式と記念イベントを行った。記念イベントでは、約1,300人の観客に対して源氏物語の朗読及び瀬戸内寂聴源氏物語ミュージアム名誉館長と假屋崎省吾氏（華道家）による講演を行った。</p>						
	<p>古典の日推進事業</p>	<p>古典の日の制定を目指し古典の日宣言を行い、古典の日推進委員会（府・京都市・宇治市等で構成）が法制化に向けて活動を行ってきた。その結果平成24年9月に「古典の日に関する法律」が制定、施行された。 法制化達成以降、恒常的な推進活動は継続している。 古典の日推進委員会において様々な古典に親しむ事業を実施している。 平成27年度は、古典の日推進委員会主催で、琳派400年記念 古典の日フォーラム2015を開催した。</p>						
<p>評価・課題</p>	<p>源氏物語ミュージアムでは、毎回テーマを工夫した話題性のある企画展の開催により、観覧者に満足度の高い展示を提供することができた。 また、宇治十帖スタンプラリーなど、源氏物語をテーマとするイベントを開催してきたことにより、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。 しかしながら、源氏物語ミュージアムの来館者数は減少しているため、今後は魅力ある企画展の開催や、積極的な広報の実施とともに、源氏物語ミュージアムの20周年を契機とした新たな施策展開を図り、リピーターを含む来館者の増加に努める必要がある。</p>							
<p>平成28年度 新規・拡充 事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="331 855 943 895">事業名</th> <th data-bbox="943 855 1128 895">新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="331 895 943 935">源氏物語ミュージアム管理運営費</td> <td data-bbox="943 895 1128 935">拡充</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 935 943 975">源氏物語ミュージアムリニューアル事業費</td> <td data-bbox="943 935 1128 975">新規</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	新規・拡充	源氏物語ミュージアム管理運営費	拡充	源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	新規
事業名	新規・拡充							
源氏物語ミュージアム管理運営費	拡充							
源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	新規							

<具体的施策>

⑦宇治の魅力の深化事業

目標

(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園の整備を進め、新たな観光資源を創出するとともに、宇治茶や宇治の歴史情報をあわせて発信することで、宇治の魅力の深堀りによる周遊観光の促進を図る。また、宇治の伝統文化を次代へ引き継ぐとともに、文化や歴史など多くの恵まれた資源の有機的な連携による、さらなる魅力の向上(深化)を目指す。

重要業績
評価指標
(KPI)

指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
重要文化的景観地区選定面積	228.5ha (H26年度)	228.5ha					520.0ha (H31年度)

平成27年度
主な事業


事業名	事業結果
(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業	<p>史跡整備のため、太閤堤築堤期を再現するAゾーンでは遺構再現部基礎造成工事を行うとともに、石張り遺構の再現に使用するGRCパネル86.5㎡を製作した。また太閤堤が埋没し茶園ができ始めた江戸後期の景観再現を計画するBゾーンでは埋没期再現のための修景茶園の地形造成を行った。生涯学習センターで太閤堤フォーラムを開催し120名の参加を得た。</p> <p>歴史公園交流ゾーンの整備に向けて、平成24年3月に国の認定を受けた、歴史的風致維持向上計画で示された「宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する」及び「歴史のまちにふさわしい観光振興を図る」などの基本方針を実現するため、情報発信・観光交流施設の機能等の見直し及びその運営を含めた民間活力の導入の検討を行った結果を受け、PFI方式の具体的な内容について検討した結果、PFI方式での実施に向けて、「実施方針の策定・公表」を6月に行った。また、事業者を対象とした事業説明会を開催する中、14社の参加があり、多数の質問・意見が寄せられた。本事業は、これらの質問及び意見を含め検討した結果、9月に「特定事業の選定・公表」を行い、その後、本事業の予算を確保するために必要な「債務負担行為」を議会に提案したが、議会の判断により、予算の確保はされていない現状である。一方、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、1億9,460万円の交付が決定され、宇治市土地開発公社からの用地買戻しに充当した。</p>

	<p>宇治田楽まつり開催事業</p>	<p>平安時代に栄えた田楽を、現代風アレンジし、10月17日に府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして、実行委員会主催で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者数 約100人 ・観覧者数 約2,500人
	<p>文化的景観保護推進事業</p>	<p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。修理事業としては茶商中村藤吉本店の表屋の壁塗り直し事業、旧丸五百貨店建物の屋根修理事業、旧京都府茶業会議所建物の修理設計を行った。また、文化的景観整備計画書の印刷を行った。全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、長野県千曲市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2016を開催し50名の参加を得た。</p>
	<p>宇治十帖スタンプラリー開催事業（再掲）</p>	<p>(1) - ⑥掲載</p>
	<p>古典の日推進事業</p>	<p>(1) - ⑥掲載</p>
<p>評価・課題</p>	<p>(仮) 宇治川太閤堤跡歴史公園の史跡整備に向け事業進捗を図るとともに、遺構再現パネルの作成と史跡整備工事及び太閤堤フォーラムを行うことにより、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。宇治川太閤堤跡の良好な保存・活用のため、周辺地域と一体となったまちづくりを今後も引き続き実施するが、予算の確保ができていない中で、スケジュールの見直しを含め、今後のあり方について早期に検討する必要がある。</p> <p>また、宇治田楽まつりや文化的景観フォーラムの開催により、市民の文化活動の活性化や文化的景観への理解度を高めることができた。今後も引き続き、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりに努める必要がある。</p>	

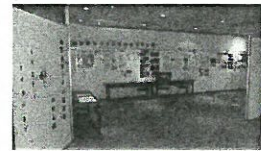
(2) 『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』～宇治への愛着から定住促進につなげる～

目標	<p>人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要である。市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政だけでなく市民自らが、魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、人口流出抑制を図る。</p>																																							
数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="349 427 775 467">数値目標</th> <th data-bbox="779 427 958 467">基準値</th> <th data-bbox="963 427 1142 467">平成27年度</th> <th data-bbox="1146 427 1326 467">平成28年度</th> <th data-bbox="1330 427 1509 467">平成29年度</th> <th data-bbox="1514 427 1693 467">平成30年度</th> <th data-bbox="1697 427 1877 467">平成31年度</th> <th data-bbox="1881 427 2054 467">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="349 483 775 547">市民の宇治への愛着度</td> <td data-bbox="779 483 958 547">83% (H25年度)</td> <td data-bbox="963 483 1142 547">—</td> <td data-bbox="1146 483 1326 547"></td> <td data-bbox="1330 483 1509 547"></td> <td data-bbox="1514 483 1693 547"></td> <td data-bbox="1697 483 1877 547"></td> <td data-bbox="1881 483 2054 547">90% (H31年度)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 563 775 627">市民の定住意向</td> <td data-bbox="779 563 958 627">61% (H25年度)</td> <td data-bbox="963 563 1142 627">—</td> <td data-bbox="1146 563 1326 627"></td> <td data-bbox="1330 563 1509 627"></td> <td data-bbox="1514 563 1693 627"></td> <td data-bbox="1697 563 1877 627"></td> <td data-bbox="1881 563 2054 627">70% (H31年度)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 643 775 707">社会動態 (転入－転出数)</td> <td data-bbox="779 643 958 707">-656人 (H26年)</td> <td data-bbox="963 643 1142 707">-892人</td> <td data-bbox="1146 643 1326 707"></td> <td data-bbox="1330 643 1509 707"></td> <td data-bbox="1514 643 1693 707"></td> <td data-bbox="1697 643 1877 707"></td> <td data-bbox="1881 643 2054 707">0人 (H31年)</td> </tr> </tbody> </table>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	市民の宇治への愛着度	83% (H25年度)	—					90% (H31年度)	市民の定住意向	61% (H25年度)	—					70% (H31年度)	社会動態 (転入－転出数)	-656人 (H26年)	-892人					0人 (H31年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																																	
市民の宇治への愛着度	83% (H25年度)	—					90% (H31年度)																																	
市民の定住意向	61% (H25年度)	—					70% (H31年度)																																	
社会動態 (転入－転出数)	-656人 (H26年)	-892人					0人 (H31年)																																	
評価・課題	<p>社会動態は転出超過であり、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図るための施策の実施が必要である。人口流出抑制のためには、宇治への愛着の醸成が必要であり、今後も引き続き市民参画・協働による事業実施を行っていく必要がある。</p>																																							
平成28年度 新規・拡充 事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="349 954 958 994">事業名</th> <th data-bbox="963 954 1048 994">新規・拡充</th> <th data-bbox="1052 954 2054 994">事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="349 1002 958 1034">ふるさと応援施策推進事業費</td> <td data-bbox="963 1002 1048 1034">拡充</td> <td data-bbox="1052 1002 2054 1034">ふるさと納税寄附者への謝礼の品の拡充</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1042 958 1074">「宇治学」宇治の魅力体験支援事業費</td> <td data-bbox="963 1042 1048 1074">新規</td> <td data-bbox="1052 1042 2054 1074">小学校6年生の史跡等文化財の見学</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1082 958 1114">初期認知症総合相談支援事業費</td> <td data-bbox="963 1082 1048 1114">拡充</td> <td data-bbox="1052 1082 2054 1114">コーディネーターを1名増員し、認知症初期集中支援チームの体制を強化</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1121 958 1153">認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費</td> <td data-bbox="963 1121 1048 1153">新規</td> <td data-bbox="1052 1121 2054 1153">宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事業等を実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1161 958 1193">中央公民館活動費</td> <td data-bbox="963 1161 1048 1193">拡充</td> <td data-bbox="1052 1161 2054 1193">宇治鳳凰大学の定員を800名に拡大</td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1201 958 1233">高齢者アカデミー運営費</td> <td data-bbox="963 1201 1048 1233">拡充</td> <td data-bbox="1052 1201 2054 1233">高齢者アカデミーの年齢要件の引き下げ（70歳以上→65歳以上）と科目の追加</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度以降 アンケート調査実施予定（市民の宇治への愛着度・市民の定住意向）</p>								事業名	新規・拡充	事業概要	ふるさと応援施策推進事業費	拡充	ふるさと納税寄附者への謝礼の品の拡充	「宇治学」宇治の魅力体験支援事業費	新規	小学校6年生の史跡等文化財の見学	初期認知症総合相談支援事業費	拡充	コーディネーターを1名増員し、認知症初期集中支援チームの体制を強化	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	新規	宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事業等を実施	中央公民館活動費	拡充	宇治鳳凰大学の定員を800名に拡大	高齢者アカデミー運営費	拡充	高齢者アカデミーの年齢要件の引き下げ（70歳以上→65歳以上）と科目の追加											
事業名	新規・拡充	事業概要																																						
ふるさと応援施策推進事業費	拡充	ふるさと納税寄附者への謝礼の品の拡充																																						
「宇治学」宇治の魅力体験支援事業費	新規	小学校6年生の史跡等文化財の見学																																						
初期認知症総合相談支援事業費	拡充	コーディネーターを1名増員し、認知症初期集中支援チームの体制を強化																																						
認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	新規	宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事業等を実施																																						
中央公民館活動費	拡充	宇治鳳凰大学の定員を800名に拡大																																						
高齢者アカデミー運営費	拡充	高齢者アカデミーの年齢要件の引き下げ（70歳以上→65歳以上）と科目の追加																																						

<具体的施策>

①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業								
目標	魅力あるまちとなるためには、行政だけでなく市民がまちに愛着を持ち、まちづくりに参画することが重要であると考えことから、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進する。あわせて、ふるさと宇治の創生には市民の主体的な関わりが何よりも重要であるため、これらを担う人材の発掘・育成に取り組む。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	魅力発信プラットフォーム参加 団体による魅力発信事業数	0件 (H26年度)	1件					2件 (H31年度)
平成27年度 主な事業	事業名	事業結果						
	市民と市長の対話ミーティング事業	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>・開催状況</p> <p>第9回 テーマ 若者の雇用支援について 日 時 5月30日(土) 午後2時～4時 場 所 城南勤労者福祉会館</p> <p>第10回 テーマ 中小企業振興について 日 時 9月5日(土) 午後2時～3時40分 場 所 宇治市産業振興センター</p> <p>第11回 テーマ 高校生のあふれるパワーで宇治市を元気に 日 時 12月5日(土) 午後2時30分～4時 場 所 京都府立菟道高等学校</p> <p>第12回 テーマ 子育て支援の充実について 日 時 平成28年3月26日(土) 午後2時～3時30分 場 所 親子広場「つむぎ」 宇治橋通り商店街内</p> 						
安全・安心まちづくり推進事業	<p>安全・安心まちづくり推進事業として、下記の事業を実施した。</p> <p>年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p> <p>宇治市第3次防犯推進計画を策定し、1,300部印刷した。</p>							

<p>まちづくり活動支援事業</p>	<p>まちづくり活動支援事業として、下記の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり協議会パネル 開催期間 6月29日～7月3日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・ うじ井戸端会議 開催日 7月2日、11月27日、3月18日 目的 協議会及びまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報や意見の交換、交流 ・ 宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 3回開催 ・ 認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 2件
<p>文化祭開催事業</p>	<p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催し、市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席、フリーマーケットを実行委員会主催で開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）が開催された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども手づくり文化祭（開催日9月19日）来場者数 約2,400人 ・ 市民文化芸術祭（開催日10月24日、25日） 参加者数 約1,000人、来場者数 約7,000人 ・ 同参加事業 参加者数 約750人、来場者数 約2,400人
<p>魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲）</p>	<p>(1) - ①掲載</p>
<p>評価・課題</p>	<p>市民と市長の対話ミーティング事業では、各分野で活動している市民と活発な議論を行うことにより、市民参画・協働の推進及び地域力向上を図ることができた。 また、まちづくり活動への支援や防犯推進組織の活動支援等の取組により、市民参加による地域における自主的な防犯活動の推進等を図ることができた。 今後も、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進するため、引き続き魅力発信プラットフォーム運営等の事業を実施していく必要がある。</p>



<具体的施策>

②宇治への愛着醸成事業								
目標	宇治の子どもが宇治の魅力を知り・実感することで宇治への愛着を深めることをはじめ、魅力の再認識を通じて、すべての市民の宇治への愛着を深め、定住の促進を図る。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市民の定住意向	61% (H25年度)	—					70% (H31年度)
	市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間					目標達成 4時間 ↓ 5時間 (H31年度)
平成27年度 主な事業	事業名	事業結果						
	魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲）	(1) - ①掲載						
	ふるさと応援施策推進事業（再掲）	(1) - ①掲載						
	市民観光デイ事業	<p>市民に宇治市の良さを知ってもらい、ふるさと意識や観光客を歓迎する意識の醸成を図るための取組として、平成27年度については、宇治上神社の夜間ライトアップ、宇治上神社拝殿での宇治市産抹茶による接待及び源氏物語ミュージアム展示ゾーンの夜間開館を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇治上神社拝殿での市内産抹茶の接待 <p>日時：9月26日 午後6時30分～午後8時30分 定員：100組200人 応募数：393件</p>						
宇治学推進事業	<p>本物の宇治茶を味わせるとともに、宇治で育ち宇治の将来を担う本市の児童生徒に宇治茶とおもてなしの心を培う学習を進められるよう、各小学校に抹茶碗・抹茶等を「宇治茶スタートセット」として配布し、市立全小学校第3学年で抹茶体験授業を実施した。</p> <p>各校の「宇治学」推進への支援を目的に、全小中学校で「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、宇治のために学ぶ」のコンセプトのもと、共通して学ぶ内容を各学年の重点単元として再構築し具体化するとともに、各小中学校で実施する「宇治学」学習がより一層充実したものとなるよう、「宇治学」副読本の作成を推進した。</p>							

保育所・幼稚園・小学校での環境啓発事業

地球環境への負荷を低減するために、未来の社会を担うこども達を対象に、環境啓発事業として、下記の環境教育を行った。

収集員による実際の体験談や塵芥収集車（パッカー車）の構造学習等を通じて、子ども達により環境問題を身近に感じてもらい、循環型社会の形成の推進を図った。

【保育園・幼稚園】実施園：22園

内容：ものを大切さやごみの分別を題材とした「紙芝居」の読み聞かせ

【小学校】実施校：21校

内容：「ごみのお話」や「ごみ分別ゲーム」を通じて、ごみ問題の現状、限りある資源の有効利用、ごみの減量、分別収集の重要性について、理解を深めてもらう授業



評価・課題

世界文化遺産である宇治上神社の夜間ライトアップ、宇治上神社拝殿での宇治市産抹茶による接待、宇治市源氏物語ミュージアム展示ゾーンの夜間開館等により、市民のふるさと意識及び観光客に対するおもてなしの心の醸成を図ることができた。

また、市内小学3年生に対する宇治茶を使用した授業の実施により、宇治の子供が宇治の魅力を知るための授業を実施することができた。

今後も、引き続き宇治への愛着を深め、定住の促進を図るための事業を実施していく必要がある。

平成28年度
新規・拡充
事業

事業名	新規・拡充
ふるさと応援施策推進事業費	拡充
「宇治学」宇治の魅力体験支援事業費	新規

※平成28年度以降 アンケート調査実施予定（市民の定住意向）

<具体的施策>

③誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業								
目標	誰もが生き生きと暮らすことはまちの活力を生み出すことから、健康寿命の延伸を図り、健康長寿日本一に向けた取組を推進する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市民の定住意向	61% (H25年度)	—					70% (H31年度)
	障害児通園事業に取り組む事業者	3園 (H25年度)	4園	<平成27年度 地方創生先行型交付金の効果検証>				4園 (H27年度)
平成27年度 主な事業	事業名	事業結果						
	健康づくり・食育推進事業	「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った。 ・協議会開催回数 2回						
	認知症の人にやさしいまち・うじの推進	認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発、介護者への支援等を行った。 ・認知症予防教室参加者数（実人数） 128人 ・認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数 1,708人 ・脳活性化教室延べ参加者数 4,393人 ・キャラバン・メイト養成フォローアップ講座延べ参加者数 30人 ・認知症対応型カフェ 12会場 延べ参加者数 876人 ・認知症を正しく理解する連続講座延べ参加者数 449人 ・家族支援プログラム及びOB会（鈴の音）延べ参加者数 132人（44人+88人）						
	心身障害児通園事業 (平成27年度地方創生先行型交付金対象)	障害児通園（児童デイサービス）事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった子どもに対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成27年度は待機児がなかった。 ・児童デイサービス 児童デイころぼっくる（アジュール舎） 宇治福祉園 かおり之園（かおり福祉会） 子ども発達さぼーとセンターあゆみ園						
ふれあい収集（ごみ収集福祉サービス）	ごみ出しが困難な高齢者世帯などに対して、ふれあい収集（戸別収集）を実施した。ふれあい収集 総世帯数416世帯（平成27年度末現在）							

	各種介護予防事業	<p>介護予防を目的とした教室の開催及び普及啓発を行った。</p> <p>一次予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーリハビリ事業（延人数） 9,706人 ・B型リハビリ教室（延人数） 6,421人 <p>二次予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足しっかり体操教室（延人数） 3,081人 ・パワーリハビリ教室（延人数） 2,911人 ・足腰改善体操教室（延人数） 7,562人 ・訪問型介護予防事業（延人数） 130人 <p>介護予防普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ためしてナッ得！健康のすすめ（延人数） 101人 ・ケアラズ・カフェ（延人数） 160人 <p>健康増進法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅寝たきり者等訪問指導事業（延人数） 28人 ・機能訓練事業（延人数） 25人 								
	鳳凰大学事業	<p>高齢者の生きがいづくり・健康づくりを目的に鳳凰大学及び各公民館高齢者教室を開催し、子ども対象事業として茶道教室等を行った。また、市民が公民館で学習を通してつながりを作り、地域で活躍するスキルを身に付けてもらうよう、各館の特色を活かして事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治鳳凰大学（4コース） 各9回 4,149人 ・宇治鳳凰大学 大学祭 1回 1,000人 								
	高齢者アカデミーの実施	<p>高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 合計57人 								
評価・課題	<p>健康づくり・食育推進事業や認知症の人にやさしいまち・うじの推進により、時代に応じた健康づくりと食育の一体的な推進や認知症の正しい知識の普及・啓発に努めることができた。</p> <p>また、心身障害児支援のため事業者が運営する通園施設への補助金について適正に執行したことにより、心身障害児等の育成に努めることができた。</p> <p>今後も、引き続き認知症の人にやさしいまち・うじの推進をはじめ、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりを推進する必要がある。</p>									
平成28年度 新規・拡充 事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期認知症総合相談支援事業費</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td>認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>中央公民館活動費</td> <td>拡充</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	新規・拡充	初期認知症総合相談支援事業費	拡充	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	新規	中央公民館活動費	拡充	
事業名	新規・拡充									
初期認知症総合相談支援事業費	拡充									
認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	新規									
中央公民館活動費	拡充									
<p>※平成28年度以降 アンケート調査実施予定（市民の定住意向）</p>										

<具体的施策>

④多世代交流促進事業								
目標	地域コミュニティが希薄化するなか、世代間の交流が少なくなっている。多世代交流により、地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがいの創出、若い世代への良き伝統の継承につなげ、宇治への愛着の醸成とふるさと宇治の創生を図る。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市民の地域行事への参加割合	24.9% (H25年度)	—					30% (H31年度)
平成27年度 主な事業	事業名		事業結果					
	高齢者アカデミーの実施（再掲）		(2) - ③掲載					
評価・課題	高齢者アカデミーの開校により、高齢者の交流機会の創出と生きがいつくりの促進を図ることができた。 今後は、より広い年齢層の高齢者が学び活動できる環境の整備とともに、多世代が交流する仕組みづくりが必要である。							
平成28年度 新規・拡充 事業	事業名		新規・拡充					
	高齢者アカデミー運営費		拡充					
※平成28年度以降 アンケート調査実施予定（市民の地域行事への参加割合）								